

コネクター

ECU、小型・薄型化に貢献

コネクターは電気信号や光信号、電力を確実伝送する主要部品の一つ。接続部とも呼ばれ、機殻（機筐、基板（ボート）と基板、基板と電線、ケーブル、電線と電線の間を結合する。自動車や屋外の機器で使用するコネクターは耐環境性能を高めユーザーの要求に添っている。

電動車

自動車向 子制御ユニット（ECU）などの電動車（EV）はコネクタUを介し電氣信号（V）の普及拡大にたいは幅広送られるため、コネクター、燃費や電費向上などの範囲の温ターの品質が求められどに伴いECUには小度と湿度にる。電氣自動車（EV）型・薄型化が求められ対応する必Vやプラグインハイを要があり、ブリッド車（PHEV）

高速伝送

また、機接続するコネクターに能群との小型化に加えて高信頼性ECU、信頼性と高品質が求められる。

ADASの性能が向上し、各種カメラやセンサーなどの車載部品の高機能化が進む。車載ネットワークはより大量の情報データを高速で取り扱う必要があり、ECU間などの伝送にイーサネットの採用が増えている。またコネクターハースにも高速伝送への対応より高品質な伝送性能が求められている。

高い信頼性・品質を両立

質な伝送性能が求められている。

ケル

ケルはピン間隔が0.4mmピッチのフローティングコネクター「DUSシリーズ」に、新たな線数バリエーションを追加した。同シリーズはV方向に追加の0.4mmピッチで可動する。基板対基板にスタック接続でき、嵌合高が3mmの低背設計のため画像処理機器や通信機器、医療機器の小型化に貢献する。毎秒16mm/sの高速伝送に対応し、温度範囲は-40℃～125℃で使用できる。ECUなど車載機器用途の搭載を実現する。

極数を新たに追加したことで、40、80、100、120、140、160、180、200極までの仕様に応えられる。

充電器 大容量化支える

政府は「2035年までに、乗用車新車販売の50%をEV100%という目標を掲げ、クリーンエネルギー自動車普及とインフラとしての充電器の設置を両輪として進めている。

経産省は23年10月に「充電インフラ整備促進に向けた指針」を公表。30年までに30万口（うち急速充電器3万口）の充電器の設置を目指す。急速充電器では大容量化が進んでおり、充電用コネクターの軽量化が実用化されている。